

総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会

議事概要

- 日 時 平成28年6月23日（木）9：00～9：11
- 場 所 中央合同庁舎8号館 6階623会議室
- 出席者 久間議員、原山議員、上山議員、内山田議員、小谷議員、十倉議員、
武川内閣府審議官、山脇政策統括官、中川大臣官房審議官、
松本大臣官房審議官、中西大臣官房審議官、柳大臣官房審議官、
星野参事官、真先参事官

〔議事概要〕

○原山議員 皆様、おはようございます。総合科学技術・イノベーション会議有識者議員懇談会をこれから開催させていただきます。

本日は、橋本議員、大西議員が欠席でございます。

本日の議題は1件でございますが、公開とさせていただいてよろしいでしょうか。

では、プレス、お願いいたします。

(プレス入室)

議題1. 「特定国立研究開発法人による研究開発等を促進するための基本的な方針の案
について」

○原山議員 本日の議題1件でございます。特定国立研究開発法人による研究開発等を促進するための基本的な方針の案についてということで、まず、事務局からお願いいたします。

<星野参事官より説明>

○原山議員 ありがとうございます。

これまでの議論の積み重ねでここまで取りまとめました。本日はこの方針の案というものを

御提案いたします。御承認いただきましたらば、この次のプロセスに入ります。いかがでしょうか。

○内山田議員 この特定研究開発法人については当会議でも割と長い時間をかけてこのような研究開発機関の必要性を説いてきました。今回、3法人が特定法人になって産業界としても大変期待が大きいわけですが、先般、経団連で会員企業に対して我が国の国際競争力についてのアンケート調査を実施したのですが、その中でも国際競争力強化に対するビジネス環境の整備、この中でも高度人材や科学技術・イノベーション環境について、かなりたくさんの方から強化が必要だという結果が出てまいりました。更にアメリカとかドイツとの比較についても調査を実施いたしましたが、多くの会員企業から科学技術・イノベーション環境、すなわち、研究開発機関のポテンシャルや携わる科学者・技術者の質と量などに対してアメリカやドイツと比べて我が国は比較的劣ると指摘した企業が多かったという結果でした。我々、産業界としては、今後の3研究機関の成果に大変、期待していますが、以前にもお話したと思いますが、単に特定法人に、大きな裁量権が付与されるということだけではなく、国としては特定化で狙った成果が本当に出てくるかということの仕組みの実践だと思っておりますので、これを総合科学技術・イノベーション会議としてもしっかり見ていきたいと思っております。

○原山議員 ありがとうございます。C S T Iとしてもこれからしっかりとウォッチしていくというスタンスでございます。

では、御承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。

では、その先のプロセスをよろしく願いいたします。

本日はこれもちまして会議を終了させていただきます。

以上